

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ積載車更新）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上富田7491						
補助事業の成果の目標	第4部（平成8年3月導入）、第6部（平成8年3月導入）の消防車両は導入から20年以上が経過し、老朽化が著しく故障・修繕が多くなっている。消防車両は火災を含む有事の際に消防団員にとって必要不可欠な物であり、活動の拠点になるものである。このため、消防車両を2台更新し、消防防災拠点として地区住民の安心安全を確保する。						
補助事業の内容	小型動力ポンプ積載車 2台						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	円 16,720,000	円	円	円	円	円 16,720,000
	交付金額	16,301,000					16,301,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全体事業完了後、利用する消防団員へアンケート調査等を実施し、不具合の解消や利便性の向上が見られるか等、消防活動に支障がないか確認した。消防車両のドア等に「特定防衛施設周辺調整交付金事業」で整備した旨を記載し、町広報誌にて地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：防犯灯設置工事）整備事業					
補助事業者名	新富町長					
実施場所	新富町					
補助事業の成果の目標	既設灯のLED防犯灯への改修及び地元要望を受けての増設を計画的に進め、町内全域の災害や事故のない安全で安心なまちづくりと、住民生活の利便性の向上を図る。					
補助事業の内容	防犯灯新設・取替（新設20灯 改修31灯）					
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和元年度					
事業費及び交付金額		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	計
	事業費	円 6,043,436	円 6,372,600	円 1,298,836	円 2,805,000	円 16,519,872
	交付金額	5,778,000	6,372,000	1,296,000	2,600,000	16,046,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>防犯灯改修・設置箇所について、生活の利便性が向上しているか目視にて確認を行った。また、地域住民へ聞き取り調査を実施したところ「設置により防犯並びに夜間歩行に役立っている」との意見が寄せられたことから、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりと、住民生活の利便性向上に寄与することができた。</p> <p>また、鋼管柱へ貼付するラベル及び町広報誌に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを記載し住民へ周知を行った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設(交通施設：越馬場～野中線外8)整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町内一円						
補助事業の成果の目標	越馬場～野中線外8路線は、小中学校の通学路および各地区の生活道路となっている。しかし、歩道等が確保されていない事や、路側が明確化されていないことから児童生徒の登下校において安全が確保されていない状況である。 また、生活道路においても区画線の劣化が著しく、外側線および中央線が視認しにくく走行の際に危険な状態となっている。 この事から、地域住民の安全を確保し、生活基盤の整備を図る。						
補助事業の内容	区画線設置工事 L=2,316m						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 4,331,042	円	円	円	円	円 4,331,042
	交付金額	円 4,250,000					円 4,250,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全区間の区画線設置が完了し、外側線及び中央線の視認性が改善され、路側が明確になった。学校及び地域住民へのヒアリングを実施したところ、「外側線がはっきりして歩きやすくなった。車両の路側への幅寄せが無くなった。」等の意見が寄せられ、地域住民の交通安全及び生活基盤の整備に寄与することができた。また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：新富町文化会館イベントホール整備）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上富田6367番地1						
補助事業の成果の目標	<p>新富町は新富町文化会館(教育文化施設)を設置し、町民の芸術、文化振興のための場を提供している。</p> <p>しかし、設備の経過年数が過ぎ老朽化による事故等を未然に防ぐため設備の更新を行い、町民の芸術、文化振興のための環境整備を図ることを目的とする。</p>						
補助事業の内容	手動ウィンチ外更新 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 10,296,000	円	円	円	円	円 10,296,000
	交付金額	10,296,000					10,296,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>事業完了後、施設利用者及び職員へのアンケート調査を実施した結果、「作業がしやすくなった」等の回答であり、今回の設備改善により、ますます施設利用の促進が期待され、文化振興の環境整備に寄与することが出来た。</p> <p>また、町のホームページに特定防衛施設周辺整備調整交付金により整備された旨を記載し住民へ周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：円明寺線）整備事業					
補助事業者名	新富町長					
実施場所	新富町大字上富田					
補助事業の成果の目標	<p>町道円明寺線は溜水地区集落と主要地方道荒武新富線を結ぶ町の重要な幹線道路となっており一部は住宅の隣接する生活道路となっているが、平均幅員2.5m～3.0mと狭小な箇所があり車両の離合及び、経年劣化による路面の破損や平坦性の低下に伴い、振動の発生等、車両走行や歩行者の通行にも支障を来している状況であり、地震等災害発生時の避難道路としての利用にも問題が生じる恐れがある。</p> <p>また、排水路が整備されていないため、降雨時に近隣農耕地等に路面排水が流れ込んでいる状況にある。</p> <p>このため、改良拡幅工事及び排水路整備を実施し、交通状況及び排水状況を改善し、地域住民の生活基盤の整備を図る。</p>					
補助事業の内容	道路改良工事 延長L=820.0m					
補助事業の始期及び終期	平成24年度から令和元年度					
事業費及び交付金額		平成25年度	平成26年度	平成27年度	令和元年度	計
	事業費	円 26,719,000	円 35,136,200	円 20,954,455	円 22,406,609	円 105,216,264
	交付金額	26,543,000	32,600,000	20,000,000	21,000,000	100,143,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全区間の改良工事が完了となり、路面のひび割れ等が改善され、地区の消防団員及び住民へヒアリングを実施したところ「路面の平坦性の悪化が解消されたことにより、通行に支障がなくなった。また隣接耕作地においての冠水等がなくなり支障なく耕作が出来る。」などとの意見が寄せられ、地域住民の交通環境の改善に寄与することが出来た。また、町広報誌及び工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知を行った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業(交通に関する事業:新富町町道維持管理基金)							
補助事業者名	新富町長							
実施場所	新富町							
補助事業の成果の目標	新富町は、341路線、全延長約244kmの町道の維持管理において、破損個所の修繕等の対応などに時間を要する状況である。 今回、町道維持管理基金を設置し、通行支障箇所の早期修繕等の体制を整え、町道を維持管理することにより、地域住民の安全の確保、日常生活での利便性向上に寄与することを目的とする。							
補助事業の内容	町道の維持管理事業							
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和9年度							
事業費及び交付金額		平成 30 年度	令和 元 年度				計	
	事業費	円 0	円 4,288,903	円	円	円	円 4,288,903	
	基金 造成 額	交付金額	26,000,000	0				26,000,000
		市町村費等	0	0				0
		運用益	0	8,230				8,230
		計	26,000,000	8,230				26,008,230
	基金処分別	0	4,288,000				4,288,000	
	基金残額	26,000,000	21,720,230					
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>通行支障箇所の早期修繕等の体制を整え、町道を維持管理することにより、地域住民の安全の確保、日常生活での利便性向上に寄与することを目的としている。</p> <p>評価等について地域の代表者などに聞き取りを行ったところ、「前年より維持管理の対応が早く、道路の部分陥没等も早期に改善され車両や軽車両、歩行者の安全が確保された」などの声もきかれた。</p> <p>また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知をおこなった。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業(交通に関する事業:新富町コミュニティバス運営基金)							
補助事業者名	新富町長							
実施場所	新富町							
補助事業の成果の目標	<p>新富町においては、路線バスが唯一の公共交通手段であり、高齢者の通院や買い物など住民生活に欠かせないものである。しかしながら、民営バスは、各路線の採算性から平成28年度から2路線について減便されており、令和2年度においても更なる減便が実施される予定である。</p> <p>このため、本町においてコミュニティバスの運行を実施することにより、地域の公共交通手段を確保し、交通空白地の解消及び、地域住民の生活環境の維持を図る。</p> <p>(参考指標) 想定利用者数:1日平均20名以上</p>							
補助事業の内容	新富町コミュニティバスの運営及び車両修理等							
補助事業の始期及び終期	平成25年度～令和4年度							
事業費及び交付金額		27年度 まで	28年度	29年度	30年度	令和元年度	計	
	事業費	円 9,405,358	円 4,673,907	円 3,767,600	円 5,092,028	円 5,137,032	円 28,075,925	
	基金 造成 額	交付金額	20,000,000	0	15,000,000	0	20,602,000	55,602,000
		市町村費等	0	0	527	0	0	527
		運用益	7,317	20,150	1,487	6,613	6,092	41,659
		計	20,007,317	20,150	15,002,014	6,613	20,608,092	55,644,186
	基金処分額	9,405,358	4,673,907	3,767,600	5,092,028	5,137,032	28,075,925	
	基金残額	10,601,959	5,948,202	17,182,616	12,097,201	27,568,261		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>コミュニティバスの運行記録により、1日平均(平日)の利用者数は概ね18名となっており、公共交通空白地帯の住民の交通手段を一定確保することができており、地域住民の生活環境の維持に寄与している。また、今年度は運転免許返納者への利用補助も行い、前年度と比較してコミュニティバスの利用者は400名ほど増加した。</p> <p>今年度地域住民におこなったコミュニティバスのアンケート結果を踏まえ、次年度においてデマンド交通方式の導入をおこない、更なる交通空白地運送の利便性を高める。</p> <p>本事業について、「新田原飛行場関連調整交付金事業」による基金事業により運営されていることを、町広報誌、ホームページにより住民に周知している。車両本体にも同様の表示を行い、走行により利用者に周知を行っている。また、免許返納者に対しても、コミュニティバスの案内等を行い、利用促進を図る。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業（通信に関する事業：新富町有線ラジオ放送施設運営基金）								
補助事業者名	新富町長								
実施場所	新富町内全域								
補助事業の成果の目標	<p>新富町の有線ラジオ放送施設は、迅速かつ正確に災害等の緊急情報や行政情報の提供を行うために整備された。</p> <p>このため、新富町有線ラジオ放送施設運営基金を設置し、有線ラジオ放送施設の維持運営費用に充てることで、施設を安定的に運用することを目標とする。</p>								
補助事業の内容	IP告知システム運用、保守、サーバハウジング料、IP通信網サービス利用料等の費用負担								
補助事業の始期及び終期	平成26年度～令和5年度								
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	計	
	事業費	円 8,862,000	円 20,203,000	円 20,203,000	円 20,203,000	円 20,201,000	円 20,346,000	円 110,018,000	
	基金 造成 成額	交付金額	53,514,000	34,640,000	36,559,000	25,791,000	10,713,000	0	161,217,000
		市町村費等	0	0	0	0	0	0	0
		運用益	1,395	67,357	92,352	85,700	72,349	53,186	372,339
		計	53,515,395	34,707,357	36,651,352	25,876,700	10,785,349	53,186	161,589,339
	基金処分額	8,862,000	20,203,000	20,203,000	20,203,000	20,201,000	20,201,000	109,873,000	
	基金残額	44,653,395	59,157,752	75,606,104	81,279,804	71,864,153	51,716,339		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>IP告知システムの管理、戸別の機器故障対応等の作業記録（令和元年度：294件）から迅速かつ適切に行ったことが確認され、施設の安定運用が図られた。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛省）により実施されている旨を町広報誌及びHPに掲載をすることにより、保護者及び町民へ周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								